

競技場の注意(第34回)

規則について 本大会は2024年(一財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
練習についてトラックの外周で競技の妨げにならないように実施すること。投てきは競技場所とします。
招集について

	最終コール	棄権届(1次コール)
トラック競技	スタート10分前現地集合	学校代表者(引率)及びクラブ代表者(代理人OK)は情報処理室前のプログラムに棄権者のみ赤ラインで記入し報告すること。
フィールド競技	30分前現地集合のこと。	

- ・ 同じ時間帯に2種目以上出場する選手は現地審判員に申し出ること。
- ・ リレーのオーダー用紙は60分前までに情報処理室に提出してください。
他のチームからの合併は認められない。大会エントリー選手からは認められる。

アスリートビブス(旧ナンバーカード)について

- ・ ナンバーは登記登録番号とし、胸背部にしっかり付けること。
但し走高跳・走幅跳はのみいずれか一方のみでよい。

トラック種目について

- ・ トラック競技すべてタイムレース快勝とします。
但し、同タイムの場合写真を拡大して判定する。それでも判定できない場合抽選とする。
- ・ 長距離種目 800・3000・5000については危険防止の為、階段式で2グループに分けて実施する。

腰ナンバーカードについて

- ・ 今大会は100, 200, 400, ハードル種目は腰ナンバーカードを使用しません。
- ・ 800m以上のオープン競技に出場する選手は最終コール時に腰ナンバーカードを受け取り右腰やや後方につけ、レース終了後回収ボックスに返却すること。

靴底につ

- ・ スパイクピンの長さはトラック9mm以下、フィールド12mm以下とする。
- ・ 日本陸連発表のTR5.13に定めるところにより使用すること。(一覧表参照のこと)

リレーエントリーについて

- ・ 申込みエントリーの中から出場し、A・B・Cチームなどによる混合は認めない。
但し、大会参加者からは認める。

走高跳バーの上げ方について (天候その他審判長の判断で変更することもある。)

女子 1m10・1m40(練習) .20 .25 .30 .35 .40 .45 .50 以後3cmとする。(練習は男女同時に行
男子 1m40・1m60(練習) 50. 55. 60. 65 .70 .75 以後3cmとする。

器具使用について 競技場備え付けの物とするが個人の使用物は現地で検査を行い許可する。

表彰について

- ・ 表彰状は各種目3位までとし、参加者が10人未満の種目については優勝者のみとする。
表彰式は行わないので本部前に本人又は代表者は取りに来ること。
- ・ 最優秀選手賞として中学・高校男女1名ずつ計4名兼本哲也杯を贈る。発表後本部に来ること。

その他 事故については応急処置のみ行き、以後学校の責任において処置すること。

熱中症対策として水分補給はこまめに行い。テントなど各学校で準備し体調管理に注意すること。
各学校貴重品の管理については十分注意すること。(盗難事件が毎年発生しています。)
貴重品の管理については十分注意すること。(盗難事件が毎年発生しています。)